

福科大通信

Fukkudai
2022
No.28

フォーカス福科大!



■部員数: 110人 ■活動日時: 毎週月・土 ■活動場所: 短大4号館4階 小体育館
■活動実績: 令和4年度関西学生バドミントン春季リーグBリーグ戦 シングルス3位・ダブルス2位
令和4年度関西学生バドミントン春季リーグ戦 5部2位

Q 活動内容を教えてください。

主に月曜日は、初心者を含め遊び感覚で打ち合いをしたり、試合形式で練習したり、自由にバドミントンを楽しんでいます。今年6月にクラブに昇格したので、大会にも出場できるようになり、土曜日は、経験者が集まり、西日本学生大会、関西学生選手権大会等での勝利に向けて、本格的に練習をしています。他大学との練習試合も行なっています。

Q バドミントン部に入部する方は経験者が多いですか?

経験者は少なく、大半が初心者です。上手になりたいと思う初心者の方はぜひ経験者と一緒に練習をしてみてください。

Q 入部するにあたって、必要な経費や用意するものはありますか?

部費として月500円程度かかりますが、ラケット・シャトルは貸し出しています。用意するものは体育館用シューズだけです。



初出場
シングルス ベスト3位!!
村上亮太さん
(左写真)

初出場
ダブルス 準優勝!!
船越颯真さん
(右写真 左)
村上亮太さん
(右写真 右)

学園創立80周年記念事業NEWS

2022年(令和4年)、学校法人玉手山学園は創立80周年を迎えました。日頃の感謝を込めて、皆さまと一緒に80周年を大いに楽しむべく、以下様々な事業を実施しております。詳細は下記特設サイトよりご確認ください!



▼最新情報はこちらから▼

特設サイト



公式LINE



- ★たまちゅーぶ&たますたぐらむ
- ★TamaCafé記念メニュー
- ★柏原の学び舎「立教館」
- ★TAMA遊び
- ★大学祭×80周年
- ★記念グッズ
- ★記念写真集
- ★たまたま音楽祭
- ★Tama Cup!!
- ★学園施設開放
- ★記念寄付(返礼品つき)

勉強の合間に、 commons カフェで 学園 2号館 2階

ほっと一息つきませんか?

スマホ画面にクーポンを表示し
お会計時にご提示ください!

福科大通信
限定!!

commonsカフェで使える!! SPECIAL COUPON

有効期限: 2022年11月末日

¥50 OFF!!

※本学学生のみ使用可 ※一部のメニューのみ使用可

¥50 OFF!!

玉手山学園
建学の精神

感恩 (かんおん)

大学の使命

関西福祉科学大学は、建学の精神「感恩」を心得、実践する人を育成し、豊かな未来社会を作る。その達成に向け良質の教育活動と、活発な知的創造・研究活動を行う。

関西福祉科学大学



社会福祉学科

Social Welfare

社会福祉学科の魅力、発信中!

みなさん、大学のホームページはご覧になられていますか?社会福祉学科のサイトに「動画で見る社会福祉学科」があり、社会福祉学科PVや教員によるミニ講義「ふくし+」などを配信しています。社会福祉学科の受験を考えているお知り合いの方にご紹介ください。

また、社会福祉学科の公式Instagramアカウントができました。写真撮影や投稿は、「社会福祉学科 あったか プロダクション(通称:SAP)」の学生たちが担っています。オープンキャンパスの様子や授業風景といった身近な内容を扱っていますので、是非ともInstagramのアプリからQRコードを読み取ってフォローし、一緒に社会福祉学科を盛り上げていきましょう!

動画で見る社会福祉学科

The image shows a screenshot of the Social Welfare Department's website and its Instagram profile. The website header features a banner with the text '動画で見る 社会福祉学科' and an illustration of people. Below the banner are navigation links. The Instagram profile for 'fukka_socialwelfare' is shown, with 10 posts, 76 followers, and 7 following. A QR code is provided for scanning to access the Instagram account. The bio of the Instagram account is also visible, mentioning the department and providing a YouTube channel link.

心理科学科

Psychology

心理科学科に 多電極脳波計が導入されました!



心理科学科の実験室に64チャンネルの脳波計が導入されました。脳波は今から100年ほど前に発見された歴史のある現象ですが、いまだに脳の機能を計測する手段として科学の中において重要な位置を占めています。近年は脳波計や電極の性能が向上して64部位の計測準備も20分ほどで終わります。「え?20分もかかるの?」と思うかもしれませんが、私が学部学生の際は14部位からの計測に40分ほどかかっていたことを考えると隔世の感があります。研究だけでなく授業や卒業論文にも活用出来たらと考えていますので、興味がある方は是非一緒に脳波を計測しましょう!!写真は第一実験参加者になって頂いた尾崎先生です。(松本敦)

健康科学科

Health

サラヤ大阪工場へ工場見学に行きました

健康科学科では、衛生管理者や養護教諭資格に必要な環境衛生検査と環境衛生の維持・改善について学ぶ「環境衛生実習」という科目があります。

2022年7月11日・14日、環境衛生実習の受講生が、新型コロナウイルス感染症流行以降初めてサラヤ株式会社大阪工場(大阪府柏原市)様のご協力で、工場見学を行いました。感染症対策のためA/B各クラスを更に前半/後半グループに分け、工場見学も一部縮小し動画も活用しての実施となりました。

見学では、会社説明についての講義を聞くとともに、工場での安全衛生管理の実際とハンドソープの充填の様子、ラカントの製品が出来上がる様子を見学しました。

働くとはどのようなことか、安全衛生管理とは何かについて考えることができた見学となりました。



福祉栄養学科

Nourish

食品ロス対策の活動をしています

福祉栄養学科 西村ゼミでは、大阪府内管理栄養士養成大学8校と大阪府環境農林水産部と連携・協働した『“もったいないやん!”食の都大阪でおいしく食べきろう』学生プロジェクトに参画しています。SDGsの「食品ロスを減らそう」の大切さを習得し、食品ロス削減の効果的な実践活動に繋げることを目指しています。

6月に今年度第1回ワークショップが開催され、4年生が参加して「売れ残りがちな食品をどうすればいいだろう」をテーマに話し合いました。それらをもとに10月の食品ロス削減月間には、スーパーマーケットでの実証実験が行われ、啓発活動を実施します。

また、3年生は子どもたちに食べ物を大切に作る気持ちをもってもらうための紙芝居「もったいないおばけ」を制作しました。幼稚園等で活用してもらえるよう動画を撮影し、大阪府の食品ロス対策のホームページに掲載してもらう予定です。



リハビリテーション学科

Rehabilitation

リハビリテーション学科2年生 白衣式に参加した学生の感想

リハビリテーション学科の白衣式で、3専攻の代表として宣誓をした学生に、参加した感想を聞きました。

Q1. 白衣式に出てみて、どう感じましたか？

白衣式では実際に白衣を着て、ふさわしい身なりに整えて出席し、いつもとは違う雰囲気、緊張感がありました。宣誓文を読んだり、自分の名前を書く時にとても緊張しました。

Q2. 白衣式の参加前後で医療従事者となる意識の違いはありますか？

白衣式を行う前は医療従事者になる意識が低かったのですが、実際に白衣式に出たことで、医療従事者になるという意識が強く湧きました。

今はまだ知識や技術が身につけていないので、授業や実習を通して多くのことを経験して学び、患者様から信頼され寄り添うことができる療法士になれるように頑張りたいと思いました。



教育学科

Education

学生有志団体「虹」のご紹介

教育学部では、新たな学生の有志団体「虹」が活躍しています。「虹」の目的は、大学で学んだ専門性を生かして障がいについて理解を広げていくことです。教育学部では、他の大学以上に障がいに関する専門的な講義が展開されており、学生たちが障がいについて学ぶ機会がたくさん用意されています。まだまだ団体として結成してから日が浅く、少人数での活動ですが、「虹」は、2022年6月に実施されたオ

ープンキャンパスで、学生イベントとして「場面緘黙に関する絵本の読み聞かせ」を実施しました。今後は、障がい理解に関心のあるメンバーを募集しつつ、地域の小学校や図書館などで、障がい理解のためのイベントを開催したいと考えているそうです。これからの学校現場では、障がいに理解のある教員の需要がますます高まっています。教育学部の学生たちの主体的な活動を教員一同、心から応援していきたいと思っています。



卒業生・在学生 ズームアップ

リハビリテーション学科卒業生 (2016年3月卒業) **浅井 勇人** さん



ロボットリハを患者さんへ行っている浅井さん

Q1. 大学卒業から現在

リハビリテーション学科 理学療法専攻 2期生の浅井勇人です。私は関西福祉科学大学を卒業後、名古屋市立大学大学院医学研究科修士課程へ入学し、さらに同大学院医学研究科博士課程へ進学して、2022年に医学博士号を取得しました。

現在は理学療法士として大学病院に勤務しながら、大学院の研究室で研究員として所属し、臨床と研究の二足のわらじで活動しています。



研究活動中で顕微鏡を覗く浅井さん

Q2. 理学療法士としての臨床活動

臨床では、高校球児のコンディショニング指導や障害予防の指導などスポーツリハビリに従事したり、脳卒中患者に対してロボットを用いたリハビリテーションを行うなど大学病院ならではの取り組みを行っています。

Q3. 主な研究活動

研究分野では、臨床研究とともに培養細胞やモデル動物を用いた基礎研究を行い新たな治療や回復メカニズムの機序の発見に少しでも貢献できるよう日々実験を行っています。

Q4. 在校生の皆さんへの一言

学生生活では自分で何かを発見し作り上げようという考えがあまり出ないかもしれませんが、日々進歩していく医学界で活躍していくためには自ら新しいもの追求していく必要があると思います。学生時代から様々なことに興味を持ち、人と出会い、自分の視野を広げておくことで新たな発見が得られたら良いと思います。積極的に活動し良い学生生活を過ごしてください。

教職員インタビュー

社会福祉学科 竹田直樹先生

Q. 先生のご専門は何ですか？

私の専門は、高齢者福祉です。そのなかでも、高齢者の権利擁護に注目をし「成年後見制度」といわれる認知症等が原因で判断能力が十分でない人たちの財産や権利を護る制度について研究をしています。

成年後見制度においては、社会福祉士や弁護士、司法書士といった専門職や制度利用者の親族がその支援にあたります。しかし、昨今、増加する制度利用者に対して、専門職の数が不足していく現状において、新たな第三者後見人として、市民後見人という存在が注目されています。私は、その市民後見人の後見活動に着目して、市民後見人の方々がより安心して活動を継続するために必要な取り組みについて日々研究を進めています。

Q. 社会福祉の分野に興味を持ったきっかけは何ですか？

高校時代、進路を選択する大事な時期に大学への進学は決めておりましたが、特にやりたいことが見つかっていませんでした。漠然と大学で4年間を過ごすことは避けたいので、当時の担任へ相談したところ、「福祉なんてどう？」という一言が返ってきました。今思えば、私の性格をみてなのか、何をもってそう言っていたのかは定かではありませんが、きっかけとしてはその一言でした。あまり、主体的なきっかけではなかったですが、今となっては、あの一言に感謝しています。



Q. 学生時代何に力を入れていましたか？

学生時代には、認知症高齢者や自殺念慮者など、深い苦しみを抱えておられる方へのコミュニケーションを学び実践していく、「福科大オレンジプロジェクト (FOP)」というプロジェクト活動に力を入れていました。対人援助職においてコミュニケーションは欠かすことができません。授業以外でコミュニケーションについて学べる機会を大切にしていました。また、学生時代は勉強だけでは、吸収できる学びには限りがあると感じていたため、知的障がい者入所施設において、アルバイトにも力を入れました。大学1年生から大学院2年生までの6年間継続して勤務をしていました。福祉の現場に身を置くことで、障がい者支援の実際やその難しさを直に感じることができました。

Q. 休日の過ごし方やご趣味を教えてください。

私の趣味は、映画鑑賞です。ジャンルは問わず、有名どころからマイナーなものまで幅広く見えています。最近は旅行といった遠出をする機会が減ってきているので、あまり代わり映えのない日々々に刺激や彩を与えるためにも映画は非常に有効だと思っています。そのため、休日は時間が許す限り映画鑑賞に時間を充てています。その他休日の過ごし方としては、本屋に行き、「自己啓発本」や「新書」を中心に面白そうな本がなが探し回っています。

Q. 学生へのメッセージをお願いします！

大学生活における4年間はとても長いようで意外と短いものです。なので、今しかできないことは何かをよく考えて、多くのことを経験してほしいと思います。本学に入学した理由やきっかけは人それぞれだと思いますが、入学当時に抱えていたその想いや熱意を、活かすも殺すも皆さん自身です。気づいたら卒業していた！なんてことのないように、今という時間を大切にして、ぜひ大学生という特権を活かして様々なことにチャレンジしてみてください (もちろん勉強が第一ですよ)。

外部評価委員会 (7/17) を開催しました。

本委員会は、大学運営に学外の客観的な視点を取り入れるために設置しており、学外有識者の5名で構成されています。大学全体の評価に加え、本学の教育活動等の取り組みについて活発に意見交換を行いました。今年度は教育学科に重点を置き、教員養成における人との繋がり的重要性への理解や、学びの実践をより深めるべき等のご意見をいただきました。また、「のびしろを伸ばす」教育や地域における本学の貢献について高評価をいただきました。今回の評価結果やご意見を今後の大学運営に活かせるよう検討していきます。



学生と教職員との意見交換会 (7/20) を開催しました。

13名の学生 (各学科から2~3名) と学長、教職員で意見交換会を実施いたしました (今回で5年目)。学生からはコロナ禍における授業運営、カリキュラム、入試、施設・設備 (ラーニングcommons)、就職支援、ボランティア活動等についての意見や要望を頂きました。また、第4期中長期計画に関する意見や、授業アンケート結果に基づく改善提案も頂きました。今後も、学生と教職員がざっくばらんに話し合える機会を設け、より良い大学を目指してまいります。参加いただきました学生の皆様ありがとうございました。



図書館は年度末に長期休館します。

休館期間 2023年1月16日~4月2日

大学図書館、短大図書館は2023年度リニューアルオープンにむけて、工事をします。

休館前には、貸出冊数2倍!!

休館前には特別措置として、通常の貸出冊数を2倍にします。また貸出期間は延長します。延長回数も無制限です (通常1回のみ)

特別貸出期間 2022年12月1日~1月13日

【大学生・短大生】10冊→20冊

【大学院生・教職員】20冊→40冊

休館中のサービス等詳しいことは、都度、図書館HP、Twitter、ユニバ等でお知らせします。図書館SNS等も、チェックしてください。



@tamateG_lib

FUKKA, KANJYO, LIBRARY